

歴博暮らしの植物苑だより

暮らしの植物苑観察会 13:30~ 暮らしの植物苑東屋

第114回 9月27日(土) 『初秋の城址公園を歩く』 中川重年(本館客員教授)

第115回 10月25日(土) 『衣服と植物』 澤田和人(本館研究部)

今週のみどころ <http://www.rekihaku.ac.jp>

アカネ (アカネ科アカネ属)

山野に普通に見られる多年草で、茎はよく分岐し逆刺によりほかの植物にからまります。多数の円錐状花序をつけ、花は小さい。根を煎汁じて茜染めに用いる。



アイ (タデ科タデ属)

藍色の染料をとるために栽培される1年草。リュウキュウアイと区別するためにタデアイとも言われる。

カリヤス (イネ科ススキ属)

本州中部の山地の特産種で、山林中の草地に群生することが多い。かやぶき屋根の材料としても、アイとの交染めとしても利用される。カリヤスは花序の長さが10~20cmで3~10個の花序枝が束生する。



ススキ (イネ科ススキ属)

日本全土の日当たりのよい山野に群生する多年草。ススキもかやぶき屋根の材料として、また炭俵を編んだりした。ススキは花序の長さが20~30cmで10~25個の花序枝が束生する。



キクイモ



ヤブミョウガ



カラムシ



ハチオクラ



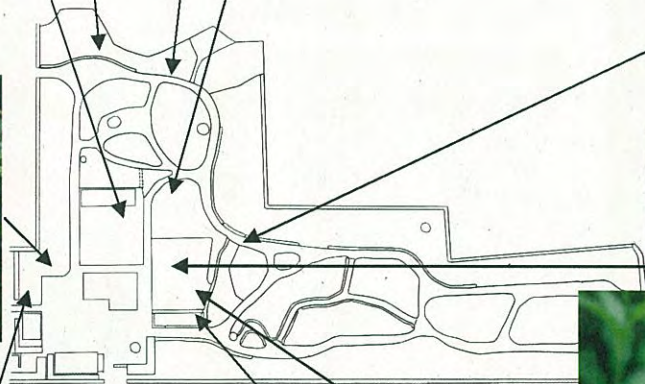
カリヤス



フヨウ



クボ



アイ



モリアサミ



アカネ



クワクサ



シオン